

(公社) 日本地震学会・学校教育委員会では、秋季大会開幕前日の平成 27 年 10 月 25 日(日)に兵庫県民会館で学校教員らを対象にした教材教室を開催しました。

小・中・高の授業ですぐに使える

地震を教える教材紹介

厚紙+クリップ

小麦粉+ココア

ペットボトル+砂

寿司のふた+油性マジック

芋ようかん+ところん突き





断層、地震の揺れ、液状化など、理科の授業で使える教材を紹介します。教材レシピの配布もあります(先着順)。

事前申込
不要

日時	平成 27 年 10 月 25 日(日) 10:00~13:00 (最終入場 12:30)
場所	兵庫県民会館 7 階 鶴の間 (神戸市中央区下山手通 4-16-3)
対象	主に小学校、中学校、高等学校の先生
参加費	無料

25 日(日) 14 時から同会館/リテホールで開催される一般公開セミナー「地震研究は防災に活かされているか? 一阪神・淡路大震災から 20 年間に実現したことと残された課題」とあわせてご来訪ください。本教室のみのお立ち寄りも歓迎します。

問い合わせ先: 日本地震学会事務局 (zisin@tokyo.email.ne.jp)
主催: 公益社団法人 日本地震学会



身近な材料で用いて作る、授業で使える地震に関する教材や手作り地震計を、会場内に複数のブースを設けて紹介しました。

小・中・高の教員など 30 名を超える来場者があり、小麦粉とココアや芋ようかんを使った断層の実験、周期による建物の揺れの違いや耐震補強について考える教材、液状化の実験などを、見るだけでなく実際に試していただきました。その場で、透明なプラスチック製容器の蓋を使った立体地形図作りに取り組む方もおられました。

これらの教材・実験については、レシピも配布しました。学校での授業や科学教室などに活用されることを期待しています。

なお、この教材教室は、28年度も秋季大会(名古屋)に合わせて開催する予定です。